



既に終了した
学会行事のご報告
(1)

第11回

定例理事会 (平成30年度第2回)

10/22 金 12:00 ~ 13:00 ▶ハロー貸会議室 新橋 G 会議室

1. 開催概要

上記の日程で、一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会 平成30年度第2回目となる定例理事会を開催しました。理事会の審議事項および報告事項等の開催概要を報告いたします。

26名の理事の出席があり理事会の成立が確認されました。会議は森田理事長を議長とし、太田理事の司会と説明で進行しました。議事録署名人を、森田理事長、中川監事にお願しました。

会 場：ハロー貸会議室 新橋 G 会議室
(ニュー新橋ビル 8F)

出席理事数：理事 26 名、監事 1 名の出席 (総数：理事 28 名・監事 2 名)

2. 議題と主な討議

(1) 審議事項

a) 平成30年度事業計画及び収支報告

- ・法人および個人会員の減少による収入減がある
- ・理事長より各理事に会員増加の支援をお願いがあった
- ・本審議は理事会で承認された

(2) 報告事項

a) 第7回研究発表会の結果及び第8回研究発表会の予定について

- ・第8回研究発表会は2019年7月3日(火)、4日(水)に郡山市で開催
- ・第8回には中間貯蔵等のエクスカージョンを併設する



- b) 第7回研究発表会優秀発表賞の表彰について
- c) 県外最終処分技術戦略研究会の設置について
 - ・大迫理事より将来を見据えて中立性のある学会で検討を進めるという説明
 - ・成果については研究発表会等においてオープンにしていこうという紹介があった
- d) 2019年度第1回定例理事会及び社員総会の日程について
 - ・2019年度定時社員総会を
平成31年1月28日(月) 11:00 ~ 12:00 予定
 - ・社員総会終了後、午後から第15回講演会を予定
開催日時：平成31年1月28日 13:30 ~ 17:00
開催場所：ハロー貸会議室H (ニュー新橋ビル 8F)
テ ー マ：「化学処理法を用いた除染法(案)」
- e) 業務執行理事の職務執行状況の報告
- f) その他



既に終了した
学会行事のご報告
(2)

第7回

研究発表会 優秀発表表彰式

10/22 金 13:15 ~ 13:30 ▶ハロー貸会議室 新橋 H 会議室

次表の概要に示すとおり、優秀口頭発表賞4件、優秀ポスター発表賞3件について、第14回講演会開始前の会場で表彰式を行いました。前号(Vol.6, No.3)で既報済みですが、今回が本学会研究発表会の初めての発表表彰でした。

表彰式は、米田学会長より表彰該当者6名について表彰状と副賞を授与しました。表彰該当者は代理者を含めてお

おむねご出席いただきましたが、福島高専からの出席者が急遽欠席ということで残念でした。また、前号で紹介した優秀口頭発表賞「除染廃棄物等焼却灰に対する灰溶融の基礎的検討」の共同発表者である森重 敦氏と羽染 久氏の所属表示に誤記がありました。ご両氏の所属は中間貯蔵・環境安全事業株式会社となります。この場を借りてお詫びと訂正をさせていただきます。



表彰概要 (※敬称略・所属名称等は略称等)

表彰名	発表題目	受賞者	所属
最優秀口頭発表賞	セシウムフリー鉱化法を用いた土壤汚染における塩化物反応剤と低圧環境の相乗効果	下山 巖	日本原子力研究開発機構
優秀口頭発表賞	福島原発事故により発生した放射性粒子の加熱による構造と放射能の変化	奥村大河	東京大学
	放射性物質によるコンクリート汚染の構造解明と汚染分布推定に関する基礎研究(概説)	渋谷和俊	太平洋コンサルタント
	除染廃棄物等焼却灰に対する灰溶融の基礎的研究	倉持秀敏	国立環境研究所
最優秀ポスター発表賞	灌漑用水貯水池における放射性物質蓄積挙動の把握	井倉将人	農業・食品産業技術総合研究機構
優秀ポスター発表賞	放射性測定に用いるカスケード型 ICP-MS の前処理のための均一液抽出 (HoLLE) の検討	佐々木尚也	福島工業高等専門学校
	溶融状態の混合 FSI 塩を用いた汚染土壌処理	佐藤 俊	福島大学

▼最優秀口頭発表賞受賞の下山巖氏(右)



▲優秀口頭発表賞受賞の奥村大河氏(右)



▲優秀口頭発表賞受賞の渋谷和俊氏(右)



▲優秀口頭発表賞受賞の倉持秀敏氏(右)

▼最優秀ポスター発表賞の井倉将人氏(右)



▲優秀ポスター発表賞の佐藤俊氏の代理として共同発表の佐藤理夫氏(右)

既に終了した
学会行事のご報告
(3)

環境放射能除染学会 第14回講演会

10/22 金 13:30 ~ 17:00 ▶ハロー貸会議室 新橋 H 会議室

テーマ:「除染・減容化のための物理的分離法」

講演会参加者: 82 名

1. 開催概要

本学会では毎年2回以上の講演会を開催してきました。本年度第2回目となる第14回講演会は、報告(1)定例理事會に引き続いて上記に示す日程で行いました。当初スクール形式の座席配置でしたが、当日参加者も多く、追加

の席を設ける状況となりました。

2. プログラム概要等

太田理事の司會により講演会を進行しました。開演の冒頭に森田学会理事長から除染物の減容化が大きな課題で

あり、前回の講演会は加熱処理をテーマとしましたが、物理的分離法や化学処理を用いた除染法もあり、今回は物理的処理方法をテーマとしました。次回は化学的処理のテーマを検討中ですという紹介がありました。

講演の冒頭は、JESCOの小林社長からJESCOが中間貯蔵施設内で実施している分級処理システム実証実験の

概要の紹介をいただきました。次に、鹿島建設の押野氏から以降の講演発表の切口として湿式分級システム全般についての紹介がありました。その後、日下氏、秋山氏から個別の視点から湿式分級の研究状況の紹介がありました。八塩氏からは湿式分級処理等の前処理として処理の適正化に貢献する土質判別処理の紹介がありました。



▲森田理事長からの開催の挨拶



▲京都大学 日下英史助教



▼大阪大学 秋山庸子准教授



▲小林正明 JESCO 代表取締役



▲鹿島建設株式会社 押野嘉雄氏の講演



▲株式会社大林組 八塩晶子氏の講演



▼フリーディスカッションの様子



◇◇◇ 第14回講演会概要 ◇◇◇

時間	演題	講演者
13:30 ~ 14:00	中間貯蔵施設内における 除去土壌の分級処理システム実証試験	中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO) 代表取締役 小林 正明
14:00 ~ 14:30	湿式分級概論	鹿島建設株式会社 環境本部 押野 嘉雄
14:30 ~ 15:00	農地土壌等の減容化 / 再生利用のための 湿式解泥・分級技術の課題	京都大学大学院 エネルギー科学研究科エネルギー応用科学専攻 助教 日下 英史
15:00 ~ 15:30	磁気力制御による除去土壌の減容化 / 再生利用法の開発とその課題	大阪大学大学院工学研究科 准教授 秋山 庸子
15:30 ~ 16:00	除去土壌の効率的な前処理のための 土質判別システムの開発	株式会社大林組 原子力環境技術部 八塩 晶子
16:00 ~ 16:10	休憩	
16:10 ~ 16:30	フリーディスカッション	司会：環境放射能除染学会 理事長 森田 正敏

以上 (文責：理事・事務局 峠 和男)



学会からのご案内

I 賞の種類等

今回推薦を募集するのは学会賞、学術賞、技術賞、奨励賞、功労賞の5つの賞です。

- ① **学会賞**：本学会の発展に貢献もしくは環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生に関する分野において特に優れた功績を認められた個人、法人、または団体・グループに贈呈。
- ② **学術賞**：環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生に関する学術研究において、顕著な貢献があると認められる個人、法人、または団体・グループに贈呈。
- ③ **技術賞**：環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生に関する対策技術等に関して顕著な貢献があったと認められる個人、法人、または団体・グループに贈呈。
- ④ **奨励賞**：環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生に関する一連の論文、著作等、学術的研究成果が特に優れた若手研究者に贈呈。授賞対象者は概ね45歳以下の者とする。
- ⑤ **功労賞**：環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生に関する分野において科学・技術の進歩発展及び環境の改善ならびに本学会の発展に、著しく貢献した個人、法人、または団体・グループに贈呈。

学会表彰候補者 推薦募集中!

II 応募方法

所定の推薦書(学会webサイトよりダウンロード)に記入のうえ、学会事務局(office@khjosen.org)までメールにてお送りください。

III 選定方法

皆様よりご推薦いただきました候補者のなかから、表彰委員会が受賞候補者を選定し本学会の会長が理事会に報告、理事会の了承を得たうえで受賞者を決定します。

IV 表彰方法等

各賞受賞者へは、賞状及び副賞を授与することとし、会長が研究発表会開催期間中に表彰するとともに、本学会誌及びホームページに掲載発表いたします。

V 各賞候補者推薦締切

2019年3月31日

